

「あの時 こうしなけば・・・」

～ SNSの危険性について学びあう勉強会 ～



事例1

SNSの“当選／お年玉”誘導 → バーチャルカード等で搾取

手口： SNSの「当選DM」や“配布”を装い、バーチャルカードやプリペイドの発行・入金を誘導→残高を吸い上げ。

子どもが刺さる点：

即金・お小遣いを強調する短尺動画やDM、
学校で話題の“当たり”文化。

記事： 中学生が“100万円当選”系SNSから誘導され、バーチャルカードを悪用される被害（関西テレビFNN）。

関西テレビ放送 カンテレ

事例2

ゲームのRMT・アカウント売買を巡る詐欺

手口：偽RMT（リアルマネートレード）サイトや取引掲示板で
アカウント情報を入力させ乗っ取り／代金未払い。
未成年側が加担する例も。

子どもが刺さる点：

**最短で“強くなれる・稼げる” **誘い。

規約違反の理解が浅く、被害・加害の両面に転びやすい。

記事：高校生らが関与した偽RMTサイトを用いた不正アクセス・
詐欺事件を解説（事案の概要と手口）。 [JDSE](#)

事例3

「〇〇ペイで返金します」型（返金装い→逆送金）

手口：通販の欠品連絡などを口実に「返金手続き」と称してコード決済アプリで数字入力やQR読み取りを誘導。
実態は詐欺相手への送金。

子どもが刺さる点：

チャットでの“言われたとおり”操作、画面の表示で安心しやすい。

記事：国民生活センターの注意喚起（事例・対策）

消費者庁の注意喚起 [国民生活センター](#) [消費者庁](#)

自治体の具体的フロー解説 [高槻市公式サイト](#)

事例4

高額課金・“投げ銭”暴走（アプリ内課金／ライブ配信）

手口：ライブ配信アプリやゲームで少額のつもりがエスカレート、
家族の決済手段にひも付いたアカウントから高額決済。

子どもが刺さる点：

その場で承認欲求に反応、**「コイン」「ギフト」**などの
擬似通貨で金額感覚が希薄に。

記事：10歳がTikTokで“投げ銭”高額課金、運営と決済事業者を提訴

[弁護士.COM](#) [ライブドアニュース](#)

各地で高額課金相談が相次ぐ実情 [TBS NEWS DIG](#)

課題と対策 1

課題：お金の価値の理解不足

- ・ 現金を見ないため、お金を使っている実感が乏しい
- ・ 課金や投げ銭などが「簡単にできる」と誤解し、使いすぎるリスク

対策：

- ・ 家庭で金額感を一緒に確認し、現金と同じ価値があることを繰り返し教える

課題と対策2

課題：悪意ある第三者の存在

- ・ 当選詐欺や「お試し無料」詐欺、逆送金詐欺などがSNSで横行
- ・ 相手が子どもだと知られると狙われやすい

対策：

- ・ 「知らない人との送金・お金のやりとりはしない」を徹底
- ・ 家族で利用明細を確認する習慣づけ

課題と対策3

課題：利用ルールの未整備

- ・ 家庭でスマホやアプリのルールが曖昧だと、子どもが自由に課金してしまう
- ・ 保護者が管理せずにいるため、課金に気づきにくい

対策：

- ・ スマホ・キャッシュレス利用の「家庭ルール」を明文化しておく
- ・ 必ず保護者の承認を通す設定を行う

課題と対策4

課題：情報セキュリティ意識の低さ

- ・ パスワード共有や二段階認証の未設定でアカウント乗っ取り被害
- ・ 個人情報が詐欺グループに悪用されるリスク

対策：

- ・ パスワードは家族で管理、他人には絶対に教えないことを徹底
- ・ 二段階認証・SNS認証を必ず設定

「あの時 こうしなければ・・・」

～ SNSの危険性について学びあう勉強会 ～

